

高岡法科大学野球部春季キャンプ

北陸大学野球リーグ2部に所属する高岡法科大学野球部(富山県)が3月1日(月)から14日(日)、大方球場を拠点にキャンプを行いました。

2日(火)には、土佐西南大規模公園体育館で歓迎式典が行われ、荒屋均監督から、「このキャンプで体力をつけて春のリーグ戦に備えたい。町の皆さんからあたたかい励ましの言葉をいただいたので、良い報告ができるように頑張りたい」とあいさつがありました。

また、キャンプ中には高知ファイティングドッグスや中村高校、高知高校との試合も行われました。

金田大聖主将は今回のキャンプについて、「富山は雪でグラウンドが使えなかったが、黒潮町はキャンプの環境がとても良い。1部リーグにみんなが上がるように頑張りたい」と話しました。



対高知FDの一コマ

キャンプの環境がとても良い。1部リーグにみんなが上がるように頑張りたい」と話しました。

冬の野鳥観察会

NPO砂浜美術館が主催する「冬の野鳥観察会」が2月13日(土)、20日(土)に行われ、約15名が参加しました。

同館職員の山本あやみさんによれば、会場となった土佐西南大規模公園(大方地区)周辺では220種類ほどの野鳥が見られるとのこと、同イベントは、町としての自慢をより多くの人に知ってもらい、大事にする思いを育んでもらおうと平成29年から始まりました。

高知野鳥の会に所属する森富美男さんの案内のもと、20日(土)の回では、入野松原キャンプ場周辺を周り、オカヨシガモやウグイス、オオバンなど、約15種類の野鳥が観察されました。参加した田城光子さんは、「昨年から外に出る機会が少なくなったが、野外を皆さんと歩きながら野鳥観察ができ、気分も晴れて良かった」と話しました。



木にとまる野鳥を観察

皆さんと歩きながら野鳥観察ができ、気分も晴れて良かった」と話しました。

まほろば Vol.10 くるしお

「まほろば」とは、素晴らしい場所・住みやすい場所という意味。まほろばな黒潮町で頑張る人や団体にスポットを当て、紹介するコーナーです(隔月掲載予定)。



高知野鳥の会 森 富美男さん

高知野鳥の会に所属し、町内外で野鳥の観察や生態調査に携わり、コロナ禍以前は野鳥を求めて国内外を飛び回る。また、平成29年からはNPO砂浜美術館が主催する「野鳥観察会」の案内人も務めており、多くの人に鳥の魅力伝えていく。好きな野鳥は「ヤマドリ」。山の主として、他人にべこべこしないところが好きだという。

野鳥を好きになったきっかけは?

元々のカメラ好きが始まり。中学生の頃からカメラを持ち始め、風景や人物などを撮影してきました。

35年ほど前、由布院の金鱗湖でカワセミを見た時、「綺麗だ」と思いました。また見たいと思うていた矢先、町内で5、6羽のカワセミを見るのができたくんです。そこから野鳥が好きになり、鳥を撮影するようになりました。

それに加えて、小さい頃から鳥が好きだったこともあり。色々な工夫をしては鳥を捕まえ、こっそり学校の床下で飼っていたことも。父も鳥が好きで、寡黙でしたが、鳥を通じて親子の会話があったかな。

今はどんな活動をしてますか?

野鳥の観察はほぼ毎日、朝9時頃から夕方



野鳥紙芝居を紹介する森さん

森さんにとつての野鳥の魅力、野鳥観察地としての黒潮町の魅力は?

カワセミやヤイロチヨウなど、私にとっては「宝

までしています。鳥はいつ現れるかわからないし、好きだからね。待つのは苦にならないんです。高知野鳥の会として、鳥の調査をしたりもしています。生態調査などを行い、ウイルスにかかった事例が発見されるとその発生源を見つげるための調査なんかにも使っています。そのほかにも、珍しい鳥を見つけたら情報交換をしたり、写真展を開いたりも。

黒潮町は川や海、草や林、山など多様な環境があることが野鳥の観察場として素晴らしいと思います。色んな環境があるから色々な種類の鳥がやって来るとは。4月に入ったら、海岸が面白いですよ。数は少ないかもしれませんが、いろいろな種類が見られるはず。



望遠鏡で野鳥を観察

広報に掲載しきれない内容や取材の裏話を町公式Facebookで紹介しています。裏表紙のQRコードからご確認ください。